

ii!! TAC. 通信

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

【 JA版・第814号 】

本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課提供 令和8年3月11日 更新

次回は令和8年3月25日(水)配信予定です

★各欄の《下線部分》をクリックしていただきますと、記事内容が表示されます★

☆TAC!! 公式アカウント 友達募集中☆

TAC公式LINEアカウントではTACの皆様が日々担い手に訪問する際に
話のネタになる情報や営農技術関係の情報などを配信しています。

ぜひご登録ください!

■登録は右のQRコードからお願いいたします■



お知らせ

■TACアグリビジネススクール 令和8年度の開催予定について! NEW

本所TAC・営農支援課です。令和8年度のTACアグリビジネススクールの開催予定についてお知らせさせていただきます。

回	日程	時間	講習テーマ
1	2026/6/3(水)	10:00~15:00	生産資材・技術情報①
2	2026/7/1(水)	10:00~15:00	農業労働力支援・相続・事業承継
3	2026/8/5(水)	10:00~15:00	総合事業連携の取り組み
4	2026/9/2(水)	10:00~15:00	農業現場における労務管理・会計基礎
5	2026/10/7(水)	10:00~15:00	会計・税務研修①
6	2026/11/4(水)	10:00~15:00	会計・税務研修②
7	2026/12/2(水)	10:00~15:00	会計・税務研修③
8	2027/1/6(水)	13:00~15:00	販売強化の取り組み
9	2027/2/3(水)	13:00~15:00	生産資材・技術情報②
10	2027/3/3(水)	13:00~15:00	農政情報・総括と次年度の取り組み方針について

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

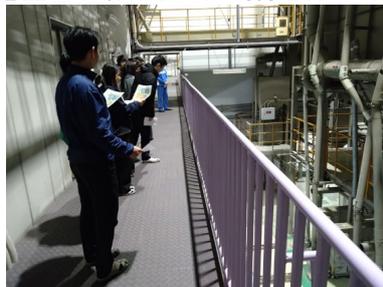
■JA埼玉県担い手サポートセンター「令和7年度JA営農担当者研修会」全課程修了 NEW

JAのTAC及び営農指導担当職員等の営農指導力強化を図るため、JA埼玉県担い手サポートセンターは関係機関と協力し、栽培技術及び施肥防除・品目知識・流通等に関する年間を通じた体系的研修会を開催しました。

受講者は、作物コースでは「埼玉県産米・麦の流通について」、野菜コースでは「段ボール・包装資材の基礎知識」について受講しました。

「作物コース」「野菜コース」は年間10回開催し、42名が受講しました。全10回出席した受講者には「皆勤賞」、8回以上出席した受講者には「精勤賞」の修了書を発行しました。

年間10回の研修を通じて習得した営農技術を生産現場の活用に期待したいです。



【全農パールライス(株)埼玉精米工場見学風景】

■日本農業新聞みどりGXラボ

「みらい稲作アカデミー 気象変動時代の米づくりを学び直すオンラインセミナー」を開催 NEW

日本農業新聞みどりGXラボが、みらい稲作アカデミーを開催します。

水稻の生育における高温の影響や、現場で使える具体的な対策技術を分かりやすく解説します。生産現場で問題となっている、品質低下・収量低下といった高温障害の課題解決に役立つ内容です。

セミナー詳細・申込はこちら：<https://www.agrinfo.co.jp/page/mirai-inasaku-academy>



■公益社団法人日本農業法人協会 「農業を強くする情報紙」 Fortis フォルティス」のご案内 NEW

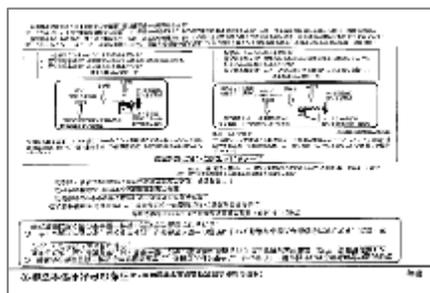
令和7年5月以降、労働安全衛生法および関係省令について、安全対策を強化する改正が段階的に施行されています。改正により変わったこと、今後変わることについて紹介している、日本農業法人協会の「農業を強くする情報紙」Fortis フォルティス」をご案内いたします（執筆者：全国農業経営支援社会保険労務士ネットワーク 副会長 いのしし社会保険労務士事務所 所長 社会保険労務士 中村 雅和氏）。

併せて、本改正に伴う農林水産省の資料を参考までにご紹介いたします。

農業分野において具体的にどのような対応が必要になってくるかについては、関係省庁等の検討結果を踏まえお伝えしてまいります。



Fortis フォルティス



農林水産省参照資料

■AFJ日本農業経営大学校オンラインスクール 「経営マスターコース「アカウンティング(会計)」のご案内 NEW

AFJ日本農業経営大学校オンラインスクールは、2026年6月9日（火）～9月15日（火）の日程で、経営マスターコース「アカウンティング(会計)」を開催いたします（講義は全7回+個別フォロー付きのカリキュラムです）。

農業経営者・幹部層にとって不可欠な財務会計・管理会計の基礎知識、それらを用いた意思決定手法を取り扱うオンライン講座です。講座の前半では財務諸表の読み方に加え、それらが示す経営の実態を把握し、より収益性の高いビジネスモデルを設計するための思考法を習得します。講座の後半は管理会計を活用した、儲けの見える化を通じ、利益を生み出す仕組みの検討や磨き上げを実施。農業経営特有の課題に焦点を当てた本講座のカリキュラム、講師による伴走支援、そして同じ課題を抱える農業経営者との交流を通じ、儲かる経営の方程式を学びます。

講座の詳細は本校HPでご確認いただけます。<https://www.afj.or.jp/jaiam/online-school/accounting/>



■群馬県本部「JA甘楽富岡管理職（営農センター長）向け研修会」を開催（2/12）

全農群馬県本部生産資材部担い手推進課は2月12日、JA甘楽富岡営農部会議室において「JA甘楽富岡管理職（営農センター長）向け研修会」を開催しました。今回の研修会は、管理職（センター長）及び営農担当者を対象とし、営農指導事業全般について研修を行いました。当日は管理職（営農センター長）及び営農担当者計15名が参加しました。

研修会では、全中・担い手支援部高橋講師より管理職向け研修として「JAの営農指導の現状と課題」と題した講義を受講しました。

研修会終了後参加者全員に各人の目的と目標を一人ずつ発表してもらい、令和8年度に向けての決意を表明してもらいました。



【研修会の受講風景】

■ J A 埼玉県担い手サポートセンター「令和7年度第9回 J A 営農担当者研修会」開催（2 / 1 2）

J A 埼玉県担い手サポートセンターは関係機関と協力し、栽培技術及び施肥防除・品目知識・流通等に関する年間を通じた体系的研修会を開催しています（年間10回コース）。

第9回研修会は、2月12日に鴻巣市の埼玉県種苗センターにて、午前作物コース「米の食味と評価方法」（14名参加）、午後野菜コース「野菜の流通と販売戦略」（22名参加）を開催しました。後段では、埼玉県農林部生産振興課の担当者より、「埼玉野菜の現状と県の生産振興策について」と題し、県の補助事業・埼玉県オリジナルのさといも・いちごの説明を受けました。

今回の研修を通じ、現場で指導にあたる T A C や営農指導員の技術習得と生産現場での指導に期待したい。



【作物コース（米の食味官能試験風景）】

■ J A 埼玉県担い手サポートセンター「令和7年度 T A C パワーアップ埼玉県大会」開催（2 / 6）

J A 埼玉県担い手サポートセンターは2月6日、さいたま市で「令和7年度 T A C パワーアップ埼玉県大会」を開催し、T A C や J A 関係者約170名が参加しました。大会は県内 T A C の情報共有と相互研鑽、表彰による意欲向上を目的とし、今回で16回目です。県知事賞の白石 T A C（J A 埼玉みずほ）は、スマート農業を活用したイネカメムシ防除の事例として、広域空中散布により被害軽減と所得向上を実現したと報告しました。優秀賞は J A さいたまほか3 J A が受賞しました。基調講演では全農耕種総合対策部より T A C の出向く活動強化と優良事例が紹介されました。受賞 T A C は、「訪問活動で担い手のニーズに合った提案力を向上させ、信頼される T A C を目指したい」と抱負を語りました。



【前列：受賞者 後列：主催者】

■ 兵庫県・兵庫県本部が共催「兵庫県直播栽培研修会」開催（2 / 3）

兵庫県と兵庫県本部は2月3日に、省力化や担い手不足に対応する技術として期待される水稻直播栽培の普及に向け、約150名の生産者や関係者を集めて直播栽培研修会を開催しました。

研修会では、兵庫県農林水産総合技術センターから湛水直播・乾田直播の特徴や導入ポイント、注意点について説明があり、丹波農業改良普及センターからドローン湛水直播における3種類のコーティング種子を用いた実証試験結果や、新技術「リゾケアXL」を活用した湛水直播技術の説明が行われました。また、メーカー・兵庫県本部による展示や相談ブースも設けられ個別の相談に対応しました。

参加した生産者からは「最新の情報が盛りだくさんで大変勉強になった」「今後は現地研修会にも参加したい」といった声が多く寄せられました。

直播率が約1%と低い兵庫県で、関係機関が連携した本研修会は初の取り組みであり、情報共有と意見交換ができる場となりました。今後の技術普及と地域農業の活性化に努めます。



【研修会の様子】

■群馬県本部「JA邑楽館林にて窓口職員向け肥料勉強会」を開催（1/20）

群馬県本部生産資材部担い手推進課は1月20日、JA邑楽館林北部営農センターにて、窓口職員を対象とした肥料勉強会を開催しました。今回で3回目となる本勉強会には7名が参加し、管内で作付けの多い「きゅうり」や「イチゴ」で使用可能な液肥資材を中心に、資材の特徴や使用方法、実際の活用事例について学びました。

勉強会では商品説明だけでなく、職員同士の意見交換も行われ、参加者からは「使い方のポイントや使用前後の効果差がよく分かった」「学んだ内容を生産者へ伝えたい」といった前向きな声が寄せられました。今回の取り組みにより、窓口対応力の向上と生産者支援の強化が期待されています。



【研修会の受講風景】

■本所施設園芸企画課からお知らせ

【トレーニングセンター幸手 研修者三次募集中！】

本所施設園芸企画課では、令和8年に埼玉県幸手市に設置する「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」（埼玉県幸手市）にて、第一期研修者の三次募集中です！

栽培品目	トマト・ナス・キュウリ
研修期間	令和8年10月～令和10年9月（原則2年間・応相談）
研修費用	無料
雇用契約	本会の臨時職員として雇用（更新期間の定め・更新上限あり）
賃 金	時給1,141円（令和7年11月現在。埼玉県の最低賃金に準ずる）
就業時間	8：30～17：00（繰り上げ・繰り下げあり）
応募資格	① 普通自動車運転免許必須（AT限定可） ② 入会時に住民票がある地域のJA組合員になる方 ③ 10年以上営農を継続できる方 ④ 性別、農業経験の有無は不問
応募方法	① 「ゆめファーム全農トレーニングセンター幸手」研修（求職）申込書 ② 履歴書 上記2点をHPよりダウンロードいただき、事務局へメール送付ください。
応募期限	令和8年3月31日（必着）

より詳細な情報については、HPに掲載の研修者募集要領をご覧ください。

[HPはこちら]⇒⇒ [（ゆめファーム全農 トレーニングセンター幸手の紹介 | JA全農）](#)

【オープンデー（施設見学会）開催！】

好評につき「ゆめファーム全農オープンデー（施設見学会）」を開催中です！

費用無料（交通費自己負担）で、どなたでもご参加いただけます。

新規就農にご興味のある方、トレーニングセンターでの研修にご興味のある方、是非お気軽にお申し込みください！

日 程	時 間	開催場所
2026年3月7日(土)	10:00～11:30	ゆめファーム全農 SAGA（佐賀県佐賀市・キュウリ）
2026年3月14日(土)	10:00～11:30	ゆめファーム全農とちぎ（栃木県栃木市・トマト）

■農林水産省「先進的有機農業拡大促進事業」についてご案内

農林水産省の令和8年度当初予算及び令和7年度補正予算事業において、有機農業関係では、「有機農業拠点創出・拡大加速化事業（オーガニックビレッジの創出等）」、「有機転換推進事業」を引き続き実施することに加え、今回は「先進的有機農業拡大促進事業」を新設しましたので、情報共有いたします。

本事業では、有機農業の更なる面的拡大を促進するため、スマート農業技術等の導入による地域の実情に応じた生産性向上や、有機農産物の保管や加工のための設備導入等を通じた販路の確保に取り組む農業者等を支援するとともに、当該農業者等を含む地域一体の取組を支援します。

農業者に加え、JA、加工・流通事業者など幅広い方々にも取り組んでいただける事業となっております。ぜひご活用についてご検討をお願いいたします。

【有機農業関連事業の概要】

https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/hozen_type/attach/pdf/index-61.pdf

【「先進的有機農業拡大促進事業」パンフレット】

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/attach/pdf/index-167.pdf>



■ A F J 日本農業経営大学校オンラインスクール「経営マスターコース「経営戦略」」のご案内

A F J 日本農業経営大学校オンラインスクールは、2026年4月30日（木）～7月29日（水）の日程で、経営マスターコース「経営戦略」を開催いたします。

農業経営に不可欠な戦略的思考を磨く、経営者・幹部層およびその候補者向けのオンライン講座です。激変する環境下で適切な経営判断を下すための柔軟性や応用力を、ビジネススクールや農業界に特化した本校オリジナルケースをもとに学習を行います。環境分析から成長戦略まで、基礎的なフレームワークに加え、同じ課題を持つ全国の農業者とのディスカッション、そして自社の経営課題発見と講師によるフィードバックなど、基礎から学び、経営で活用できる思考力を身に付ける、全6回の実践型カリキュラムです。

講座の詳細やPVは本校HPでご確認いただけます。<https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/strategy/>



経営・労務相談

■ 担い手対応の経営相談

担い手を対象として経営に関する相談を行っています。 経営に関する税務の疑問・質問がありましたら、以下の相談票に記入の上、本所TAC・営農支援課まで送付ください。

※無料ですので、積極的にご利用ください。

経営・税務相談票は[こちら](#)

■ 担い手の労務管理情報を配信します！NEW

農業分野の労務課題について配信します。

社会保険や雇用制度など、労働環境整備のための情報をお届けします。

◆ [記事はこちらから](#) [Click here](#)

◇ 今後の配信スケジュール

TAC通信（奇数月第2水曜日掲載）／TAC LINE（奇数月第3月曜日配信）

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_18（TAC広報・情報誌）にも格納します。

■ 農業経営支援に関する役立つ情報を配信します！

農業経営支援に関する役立つ情報をTAC通信、TAC LINEで配信をしていきます！

実際に合った事例や、過去の対応・決算データ等を基に現場のTACに分かりやすい形でお届けします。

◆ [記事はこちらから](#) [Click here](#)

◇ 今後の配信スケジュール

TAC通信（毎月第4水曜日掲載）／TAC LINE（毎月末配信）

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」_17（新規就農・事業承継・税務相談）にも格納します。

○ 節税のポイント！を全5回シリーズで解説！

- 5月 農地の取得・保有・譲渡編
- 6月 設備投資編（スマート農業、環境負荷軽減）
- 7月 青色申告編-①
- 8月 青色申告編-②
- 9月 法人化編

○ 事業承継支援に向けた担い手の経営税務に係る
チェックポイントを全5回シリーズで解説！

- 10月 集落営農法人の事業承継
- 11月 個人親子間
- 12月 法人親子間
- 1月 個人第三者承継
- 2月 法人第三者承継

○ これだけはおさえておきたい！インボイスを解説！

- 3月 経過措置への対応策について

◆アンケートはこちらから！

農業経営支援に関する上記の記事の感想、今後取り扱ってほしいテーマなど皆さんのお声を気軽にお聞かせください！

技術情報

■農研機構 技術情報 NEW

今回は、過熱水蒸気を利用した高温高湿度空気による環境保全型水稻種子消毒装置についての研究成果を紹介します。

[過熱水蒸気を利用した高温高湿度空気による環境保全型水稻種子消毒装置](#)（農研機構HPへリンク）

過熱水蒸気を利用して水稻種子を高温短時間で熱消毒した後、冷却・乾燥まで連続処理する装置。種子消毒の処理能力は約500kg/hで、ばか苗病への防除効果は温湯消毒(60°C-10分)と同等である。種子1kgの処理に要する光熱水費は5.4円である。
※農研機構プレスリリース・普及成果情報は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_ (TAC広報・情報誌) にリンクを貼付しています。

(出典：農研機構HP 普及成果、研究成果より)

～全農は、農業現場が抱える課題の解決に向けて、農研機構と連携し、新技術・新品種の産地提案や実証試験を通じた普及推進に取り組んでいます～

■農薬研究室 技術情報

ふたつの農薬技術情報をご紹介します。

1. [薬剤抵抗性イヌホタルイとその防除について](#)（アピネス/アグリインフォHPへリンク）

ひとつめは、「薬剤抵抗性イヌホタルイとその防除」について紹介します！

イヌホタルイの薬剤抵抗性について理解を深め、適切に防除しましょう！

2. [抵抗性（耐性）とローテーション防除について](#)（アピネス/アグリインフォHPへリンク）

ふたつめは、「抵抗性（耐性）とローテーション防除」についてご紹介します！

抵抗性は農薬を使用する上で切り離すことができない問題です。ローテーション防除を行い、抵抗性の発達を防ぎましょう！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」04_ (農薬) にも格納します。

(出典：アピネス/アグリインフォHP 営農情報より)

■農薬技術対策室 バイオスティミュラント資材のご案内 NEW

最近、バイオスティミュラント (BS) 資材についてよく聞くのではないのでしょうか？

BS 資材について分かり易く 6 コマ漫画にしてみました。ご覧ください。



農業労働力支援

■全農本所TAC・営農支援課 「全国労働力支援協議会」の開催

本所TAC・営農支援課では、全国6ブロックに設置したブロック別労働力支援協議会での協議を踏まえ、農業労働力支援を通じた地方創生・地域活性化を目指す「全国労働力支援協議会」を令和4年3月に設立し、設立以降毎年開催しております。

6ブロックの協議会（北海道、東北、関東甲信越、北陸東海近畿、中国四国、九州）と、全中、全共連、農林中金、全農およびパートナー企業を構成団体とし、オブザーバーとして農水省他関連省庁や関係企業等にも参加いただいています。

今後、本所TAC・営農支援課は協議会を通じて、①農業への多様な人材の活用促進、②農業以外の他産業との連携促進、③後継者誘導しやすい環境づくりの促進を目指し、農業だけでなく地方が抱える課題の共有と解決に向けた取り組みを進めます。

■全農本所TAC・営農支援課 「91農業」の提唱

本所TAC・営農支援課は、様々な方々に農業参加を促す新たなライフスタイル「91農業」を提唱しております。

他産業・一般の方々に向けて、①農業へのハードルを下げて農業参加を訴求すること、②パートナー企業連携による農作業請負の取り組みを広く周知すること、等を目的として「あなたのライフスタイルに農的生活を1割取り入れませんか？」をコンセプトに、少しでも多くの方が農業に関われるような環境を目指して全国労働力支援協議会とも連携しポスターやHP等でPR活動を進めています。



- 9本業1農業：休みの日に1日農業、新しい副業の形
- 9育児1農業：子育てしながら一時期に農業、新しいパートの形
- 9旅行1農業：旅行の1日に農業、新しい旅行の形
- 9夢追1農業：夢を追いながら一時期に農業、新しいバイトの形
- 9自宅1農業：家以外に居場所が一つ増える、新しい就労支援の形



事業承継

■全農本所TAC・営農支援課 「事業承継支援 虎の巻」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では事業承継ブックを活用した事業承継支援にかかるTACの技を収集し、全国のTACの皆様へ「達人の極意」として共有いただけるよう「事業承継支援 虎の巻」を発信しています。

あなたの「技」を全国のTACへ伝授いただけませんか？伝授についてのご相談は県域TAC部署を通じて本所TAC営農支援課にご連絡ください！

担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。ご活用ください。

■全農本所TAC・営農支援課 「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」のご案内

全農本所TAC・営農支援課では訪問チラシ「Z-GISで効率的な事業承継の実現を！」を作成しています。Z-GISの推進および事業承継の啓発の際にご活用ください。[こちら](#)からご確認いただけます。

■全農本所TAC・営農支援課 「JAグループにおける事業承継ブック親子版を活用した事業承継支援の手引き」のご案内

全農本所TAC・営農支援課ではJA全国担い手サポートセンターと連携し、JA等職員に「事業承継ブック親子版」を一層活用いただくべく取り組みポイントを整理し、支援の具体的なイメージが理解できるよう手引きを作成しています。

ご一読いただき皆様の事業承継支援の取組の後押しとなることを願っています。

手引きは、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■全農本所TAC・営農支援課 事業承継啓発チラシ親子別Ver.のご案内

全農本所TAC・営農支援課は、事業承継啓発に係るツールとして親子で別々に活用できるチラシを作成しています。このチラシは「初めて親、子の意向の聞き取る際に親と子で別々にアプローチすると進めやすい」というTACの声をもとに作成しました。個別ヒアリング後、内容を親子で共有する場をつくることで、以後の経営者と後継者の話し合いのきっかけとなるよう事業承継を提案する最初の一步目のツールとして使いやすいつもとなっていますので、担い手訪問の際に持参していただければと思います。

チラシデータは担い手営農サポートシステム「ナレッジ」17_（新規就農・事業承継）にも格納済みです。

■事業承継ブック（部会版）発行・配付

本所TAC・営農支援課は「事業承継ブック～産地全体の話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック部会版)を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農 HPは[こちら](#)

■事業承継ブック（集落営農版）発行・配付

本所TAC・営農支援課では各県からの意見に基づき、「事業承継ブック～世代を超えた話し合いのきっかけに～」(事業承継ブック集落営農版)を発行し全農HPで公開しています。是非、各県でのTAC活動を通じて活用をよろしくお願いします。

全農HPは[こちら](#)

Z-GIS



👏 !! Z-GIS の動画のご紹介 !!



全農本所スマート農業推進課が、新たにZ-GISの動画を1編作成しました。計3篇を公開しますので県やJA・生産者のへの導入、展示会等のPRにぜひご活用ください。

Z-GISスタートアップガイドは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビューは[こちら](#)
Z-GISユーザーインタビュー2020は[こちら](#)



■本所スマート農業推進課 ～スマート農業の先進事例を見てみよう！～「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行（ご案内）

本所スマート農業推進課では、Z-GIS・ザルビオの利用促進、さらなる普及拡大を目的に、令和元年度のZ-GIS導入ガイドから始まり、令和4年度は「Z-GIS・ザルビオ活用ガイド2023/2024」を発行しました。

各システムのユーザーである全国の生産者、JAにインタビューを実施し、計8事例掲載しております。また、ガイドの冒頭2ページに、Z-GIS・ザルビオを導入いただいたユーザーのスタートアップを支援するため、利用登録から圃場・作付登録までの手順を掲載しております。

冊子をご要望の方は、本所各営農資材事業所、本所スマート農業推進課までご連絡ください。また、Z-GISホームページや担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）でもPDF版を公開しております。

活用ガイド2023/2024は[こちらから](#)ご覧いただけます。

人材育成（TACアグリビジネススクール、他各種研修資料等）

■本所TAC・営農支援課 令和8年度TACアグリビジネススクール開催スケジュールのご案内 NEW

令和8年度のTACアグリビジネススクールについて、日程が決定いたしましたので下記の通りご案内いたします。

回	日程	時間	講習テーマ
1	2026/6/3(水)	10:00～15:00	生産資材・技術情報①
2	2026/7/1(水)	10:00～15:00	農業労働力支援・相続・事業承継

3	2026/8/5(水)	10:00～15:00	総合事業連携の取り組み
4	2026/9/2(水)	10:00～15:00	農業現場における労務管理・会計基礎
5	2026/10/7(水)	10:00～15:00	会計・税務研修①
6	2026/11/4(水)	10:00～15:00	会計・税務研修②
7	2026/12/2(水)	10:00～15:00	会計・税務研修③
8	2027/1/6(水)	13:00～15:00	販売強化の取り組み
9	2027/2/3(水)	13:00～15:00	生産資材・技術情報②
10	2027/3/3(水)	13:00～15:00	農政情報・総括と次年度の取り組み方針について

※日程やテーマは会議室・講師の都合により変更する場合があります。

■全農本所TAC・営農支援課 TACアグリビジネススクール収録動画の格納について（ご案内）

本所TAC・営農支援課は開催した「TACアグリビジネススクール」の講義内容の動画をYouTubeに限定公開しています。

動画URL・講義資料は担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）にも格納済みです。

■「TACの手引き」、「TAC担い手訪問ハンドブック」

TACの意義や導入目的、取組の進め方など、TACの導入から運用に至るまでを網羅する「TACの手引き」と、担い手訪問のノウハウをまとめた「TAC担い手訪問ハンドブック」について担い手営農サポートシステム「ナレッジ」13_（会議・研修・手引き資料）に掲載しました。ご活用ください。

貸出資材

■全国共通資材の貸出

○のぼり、ハッピー、テーブルクロス

貸出申請書は、担い手営農サポートシステム「ナレッジ」18_（TAC 広報・情報誌）22_（店舗・イベント）に格納されています。

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

◎必ずクリーニングをして返却してください◎

◎返却の送料は貸出先にご負担いただきます◎

○タペストリー

本所TAC・営農支援課は「TACパワーアップ大会2025」の開催にあわせ、TACタペストリー一覧を更新しました。イベント時などにご使用ください。

なお、使用時は「TACタペストリー貸出しマニュアル」のご一読をお願いします

○提出先：zz_zk_tac@zennoh.or.jp

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」12_（パワーアップ大会・営農指導員大会）にも投稿します。

担い手営農サポートシステム関連情報

■担い手営農サポートシステムの利用申請について

利用申請（新規、再登録、削除）については、Web上で実施していただけます。

（URL：<https://zennoh.my.site.com/entry>）

以下登録の手順をお知らせいたします。

- ①上記URLを開き、必要事項を入力
- ②入力内容を確認し、利用規約に同意する
- ③入力した内容が記載されたPDFがダウンロードされる
- ④申請情報で入力したアドレス宛に申し込み完了メールが送信され、PDFアップロードリンクが記載されている
- ⑤ダウンロードされた担い手サポート管理システム申請書PDFを印刷し、「情報機器管理者」「管理者」「担当者」欄に押印する
- ⑥PDFアップロードリンクに押印したPDFをスキャンしてアップロードして完了
- ⑦ヘルプデスクが入力内容を確認し、問題なければ、アカウント発行処理が実施される

詳細は担い手営農サポートシステムのナレッジに格納しております。

（ナレッジURL：https://zennoh.lightning.force.com/lightning/r/Knowledge__kav/ka02x000000WRyxAAG/view）

※ナレッジは担い手営農サポートシステムユーザーのみ閲覧可能です。

■ヘルプデスク連絡先

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-27-5 リンクスクエア新宿9階

ランキング集計

【 2月 】 月間ランキング

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2026/02/01 ~ 2026/02/28)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAレーク滋賀	2,167	61	35.5
2	JA新潟かがやき	1,582	101	15.7
3	JA仙台	1,505	36	41.8
4	JAむなかた	1,408	12	117.3
5	JA金沢市	1,191	26	45.8
6	JA常総ひかり	978	15	65.2
7	JAフルーツ山梨	947	25	37.9
8	JAさいたま	875	16	54.7
9	JAよこすか葉山	871	6	145.2
10	JA岡山	859	30	28.6

(訪問期間:2026/02/01 ~ 2026/02/28)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA粕屋	324	2	162.0
2	JAよこすか葉山	871	6	145.2
3	JAむなかた	1,408	12	117.3
4	JA福岡大城	114	1	114.0
5	JA徳島県	105	1	105.0
6	JAあきた北	585	6	97.5
7	JAなす南	463	5	92.6
8	JAさいかつ	369	4	92.3
9	JAあさか野	518	6	86.3
10	JAしまね 西いわみ地区本部	245	3	81.7

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計

★3月10日登録までの集計

【 2月23日 ~ 3月8日 】 週間ランキング集計

JA別-面談記録登録状況

TAC一人当たり面談記録登録状況

(訪問期間:2026/02/23 ~ 2026/03/08)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JA新潟かがやき	964	87	11.1
2	JAレーク滋賀	783	53	14.8
3	JA仙台	770	34	22.6
4	JAむなかた	587	12	48.9
5	JA金沢市	583	26	22.4
6	JAさいたま	536	14	38.3
7	JAよこすか葉山	482	6	80.3
8	JA常総ひかり	389	15	25.9
9	JA兵庫南	369	13	28.4
10	JAにしみの	357	17	21.0

(訪問期間:2026/02/23 ~ 2026/03/08)

	JA名	件数	訪問人数	一人当たり
1	JAなす南	252	3	84.0
2	JAよこすか葉山	482	6	80.3
3	JA福岡大城	64	1	64.0
4	JA越谷市	58	1	58.0
5	JAさいかつ	227	4	56.8
6	JAあさか野	267	5	53.4
7	JAむなかた	587	12	48.9
8	JAあきた北	288	6	48.0
9	JA粕屋	85	2	42.5
10	JA徳島県	42	1	42.0

★担い手営農サポートシステムの面談記録数（業務種別：担い手対応）を集計

★3月10日登録までの集計

最近のメディア

○スマート農業情報

[Z-GISのアップデート情報（積算気温抽出機能）](#)

※担い手営農サポートシステム「ナレッジ」15_（スマート農業・ICT）に格納

○グリーンレポート3月号 NEW

[新技術セミナー～スマート農機を導入した際の採算性を考える～](#)

[JAと連携した農業普及活動～学び合い、情報発信するきゅうり栽培集団「節なり会」への支援～](#)

[営農アシスト～営農支援システムのデータ活用による経営改善～](#)

○経営実務1・2月号 NEW

[いまこそTACだ！！ 北海道 JAあさひかわ 村上達也氏](#)

[いまこそTACだ！！ 秋田県 JA秋田なまはげ 松田久樹氏](#)

○地上4月号 NEW

※「地上」の公式HPは[こちら](#)から。

○全農ウィークリーNEW

[2026年3月9日 \(vol.1139\)](#)

※TAC活動の紹介等で転載する場合は申請不要です。

○AGRI FUTURE

[No. 110 \(JAわかやま\) 発行 \(6/25\)](#)

- ◆生産者の声：新しょうが／すもも／南高梅（なんこううめ）
 - ◆クローズアップ：新しょうがレシピ
 - ◆地域百景：日本一の梅ブランド／和歌山県の「すもも」
- フリーペーパー：各県域TAC部署へ送付 HPは[こちら](#)

○全農HP

- [ライフシーンに合わせた「地味弁」12レシピ公開！新レシピ公開記念&新生活応援プレゼントキャンペーンも実施](#) NEW
- [第19回日本ミックスダブルカリアグ選手権大会「小穴・青木」が日本一！～JA全農からの副賞は青森県産の米とお肉～](#) NEW
- [全国の産地を応援するJA全農の「ニッポンエールプロジェクト」「ニッポンエール 国産かんきつトリオ」3月23日より発売](#) NEW

○農業協同組合新聞

- [農業機械技術クラスター総会 2026年度上半期に3課題公募 農研機構](#) NEW
- [トマト用接ぎ木装置、高温材適応コンバイン、AI画像処理活用農機技術を発表 農研機構農業機械研究部門](#) NEW
- [米コスト指標「取引の現場で活用を」鈴木農相 備蓄米価格には言及せず](#) NEW
- [米の生産費2万円強に「コスト指標」作成方法で合意 備蓄米買い入れで範示せるか](#) NEW
- [日本農業のトップランナー 次世代への発信期待 第55回日本農業賞](#) NEW
- [JA貯金残高 107兆6442億円 1月末 農林中金](#) NEW
- [鳥インフル トルコ全土からの家きん肉等 一時輸入停止を解除 農水省](#) NEW
- [鳥インフル コロンビア全土からの家きん肉等 一時輸入停止を解除 農水省](#) NEW
- [鳥インフル 米国からの生きた家きん、家きん肉等 輸入を一時停止 農水省](#) NEW
- [みどり戦略対策に向けたIPM防除の実践\(100\) ニコチン性アセチルコリン受容体競合的モジュレーター\(2\)【防除学習帖】第339回](#) NEW
- [農業の正しい使い方\(73\) 有糸分裂／微小管形成阻害剤【今さら聞けない営農情報】第339回](#) NEW
- [「刷新プラン」実行し信頼回復 何より農業守る JA全中新会長・神農佳人氏が就任会見](#) NEW
- [全中 理事会のもとに執行役員会 JA支援強化へ事業改革 刷新プラン](#) NEW
- [【座談会：どうする農政】食農クライシス過去・現在・未来\(上\)「米・水田農業」](#) NEW
- [【座談会：どうする農政】食農クライシス過去・現在・未来\(中\)「貿易自由化」](#) NEW
- [【座談会：どうする農政】食農クライシス過去・現在・未来\(下\)「農政・農協改革」](#) NEW
- [バイオスティミュラント資材の情報交換会開く 関係団体が報告 農水省](#) NEW
- [外食市場調査前年比99.1% 忘年会シーズン後の飲酒主体業態の不調が響く](#) NEW
- [「アグリノート衛星リモートセンシングサービス」\(お試し版\)提供開始](#) NEW
- [米価水準 現状で「下がる」判断強まる](#) NEW
- [「生き残った農家はみんな篤農」 崖っぷちの酪農現場から問う食と牛乳の未来](#) NEW
- [「冷めても美味しい日本米」など高付加価値で輸出拡大 農水省](#) NEW
- [畑の下草焼却で死亡事故 12月の農作業死傷事故](#) NEW
- [大豆の生育障害を予測するAIモデルを開発 農研機構](#) NEW
- [農福連携で担い手対策に貢献、JAとの連携にも期待 日本農福連携学会設立](#) NEW
- [【サステナ防除のすすめ】IPM防除の実践\(害虫防除編\)自然と環境を“流用”\(1\) 予察や天敵も力に](#) NEW
- [【サステナ防除のすすめ】IPM防除の実践\(害虫防除編\)自然と環境を“流用”\(2\) フェロモン逆手に](#) NEW
- [【サステナ防除のすすめ】IPM防除の実践\(害虫防除編\)自然と環境を“流用”\(3\) 物理的防除で補完](#) NEW
- [【サステナ防除のすすめ】IPM防除の実践\(害虫防除編\)自然と環境を“流用”\(4\) 忌避効果も兼ねて](#) NEW
- [【スマート農業の風】\(24\) 営農管理にグループデータが有用](#) NEW
- [ベランダで米づくり「バケツ稲づくり」個人申し込み受付開始 JAグループ](#) NEW
- [三菱マヒンドラ農機が農機事業撤退 2026年度上期で生産・販売終了 会社は解散](#) NEW
- [自給率の低い農産物拡大へ支援を 日本農業法人協会](#) NEW
- [米のとう精数量 前年比94.1% 米販売低調裏づけ](#) NEW

●病害虫発生情報

※ 本リンクは、インターネット上にある新聞や各種情報のうち、TAC・営農支援課が担い手に関係する内容を収集して作成しています。

全農本所 耕種総合対策部 TAC・営農支援課
 TEL:03-6271-8276
 FAX:03-5218-2535
mailto:zz_zk_tac@zennoh.or.jp

TAC・出向く活動パワーアップ大会 2025「大会宣言」

我々TACは、
 一、担い手とともに、新たな技術と知恵で、持続可能な農業を創造します。
 一、JAグループの総合力を結集し、多様なニーズに応えます。
 一、地域社会を守るため、

「食」と「農」をつなぐ架け橋となります。



[HP](#)

★第2・第4水曜を基本に定期配信します（水曜日が祝日の場合は休刊します）★
※お休み等で配信日が変更となることもございます。ご了承ください。